



“地域のことは地域で考えよう”

2016年1月26日

## おきぎん県内景況・速報 2015年12月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数は下回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。

ホテル稼働率は、ビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは

下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は下回る。

#### ■企業倒産

件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

## おきぎん県内景況・速報(2015年12月分)

◎2015年12月 おきぎん「カトレア」景況図



### ◎概況：県内景況は、拡大している。

12月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品や雑貨などが堅調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、テレビや冷蔵庫の売上増加などにより前年同月を上回りました。新車販売台数は軽乗用車需要の減少などから前年同月を下回りました。

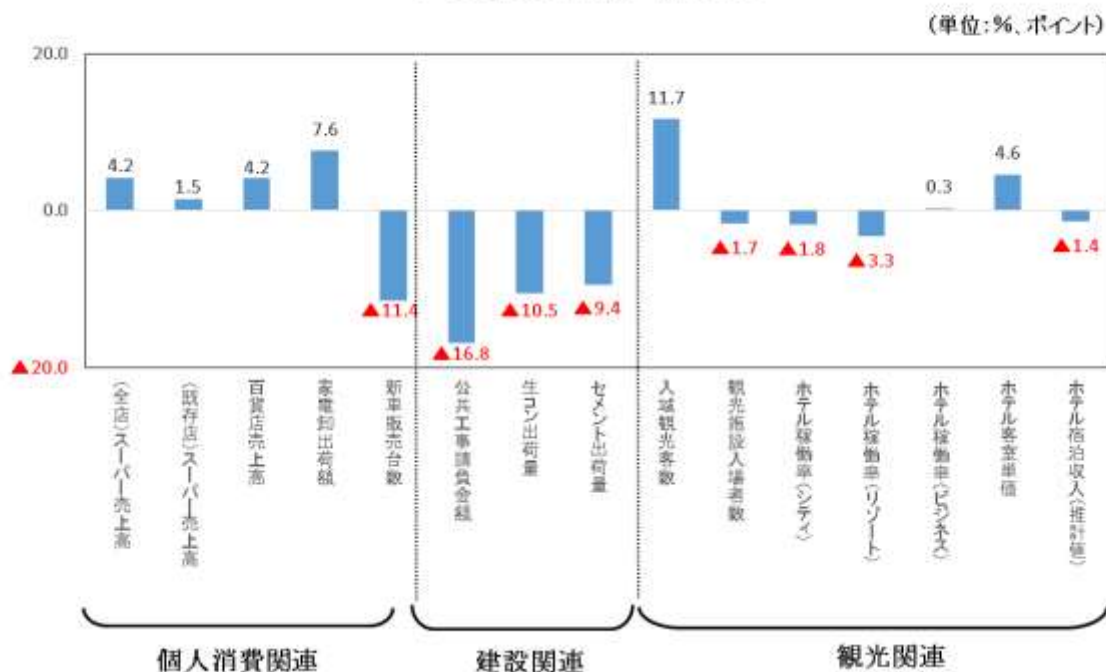
建設関連では、公共工事請負金額は、沖縄県や国発注による工事減少などで前年同月を下回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は39ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数は前年同月を下回りました。ホテル稼働率はビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から23ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



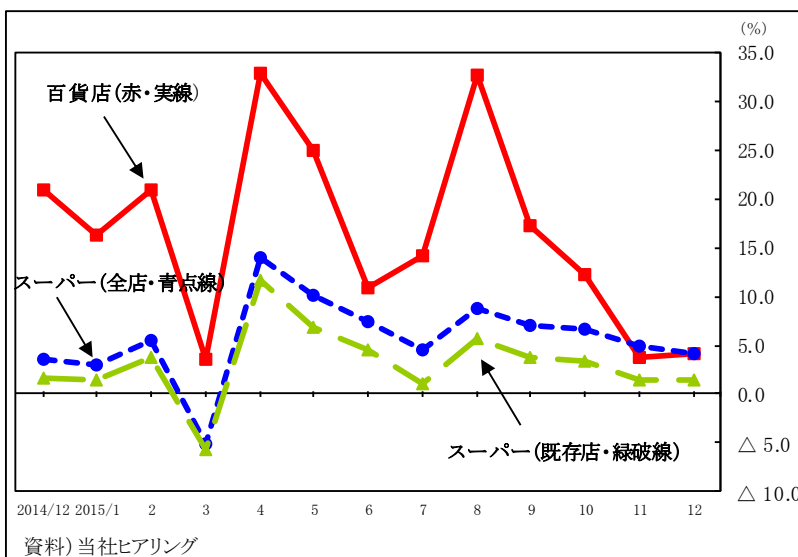


■個人消費：(やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位：%

|         | スーパー売上額 |       | 百貨店<br>売上額 |
|---------|---------|-------|------------|
|         | 全店      | 既存店   |            |
| 2014/12 | 3.6     | 1.7   | 21.0       |
| 2015/1  | 3.0     | 1.5   | 16.3       |
| 2       | 5.4     | 3.8   | 21.0       |
| 3       | △ 5.1   | △ 5.6 | 3.5        |
| 4       | 13.9    | 11.7  | 32.8       |
| 5       | 10.1    | 6.9   | 25.0       |
| 6       | 7.4     | 4.5   | 10.8       |
| 7       | 4.6     | 1.1   | 14.2       |
| 8       | 8.7     | 5.6   | 32.7       |
| 9       | 7.0     | 3.7   | 17.3       |
| 10      | 6.6     | 3.3   | 12.3       |
| 11      | 4.9     | 1.5   | 3.8        |
| 12      | 4.2     | 1.5   | 4.2        |



注1) 前年同月比

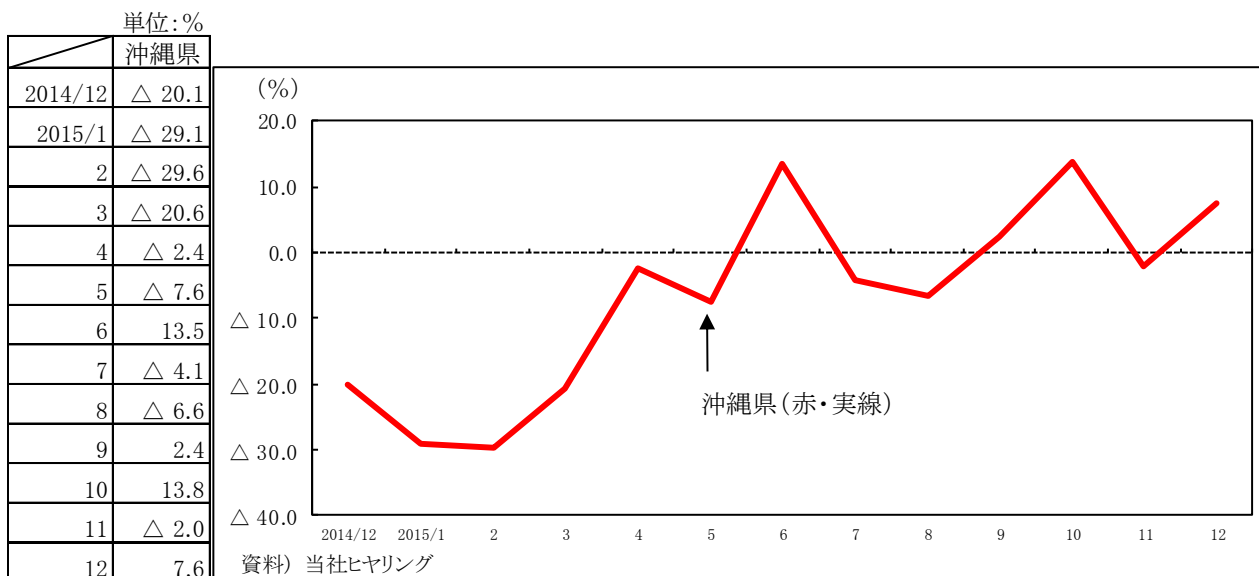
注2) スーパー売上高(既存店)については、2015年3月、4月データの誤差調整の後、修正を行なっております。本数値を参照の際には、最新のリリース情報をご覧ください。

12月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比 4.2%増)**」が9ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規出店効果などによりウェイトの高い「食料品(同 4.7%増)」や家電を含む「家庭用品(同 6.4%増)」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

「**既存店ベース(同 1.5%増)**」は店舗改装による集客効果などから、9ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 2.6%増)」は、歳暮のギフト需要や生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 2.1%増)」は白物家電(洗濯機・冷蔵庫など)やテレビの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類等)の増加などから、前年同月を上回りました。一方で、「衣料品(同 10.3%減)」は、暖冬の影響で冬物衣料の売れ行きが低調だったことなどから、前年同月を下回りました。

**百貨店売上高**は、一部、暖冬の影響が「衣料品」などでみられたものの、「食料品」や「雑貨」などの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました(同 4.2%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 4.7%減)」は、割引企画を開催するものの、暖冬の影響などから主力商品である「婦人服(同 7.9%減)」の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。一方で、「食料品(同 5.7%増)」は、新規テナント出店や歳暮のギフト需要などによる集客効果や、生鮮全般の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 24.7%増)」や「身の回り品(9.2%増)」は継続的な訪日観光客需要や年末商戦などにより売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

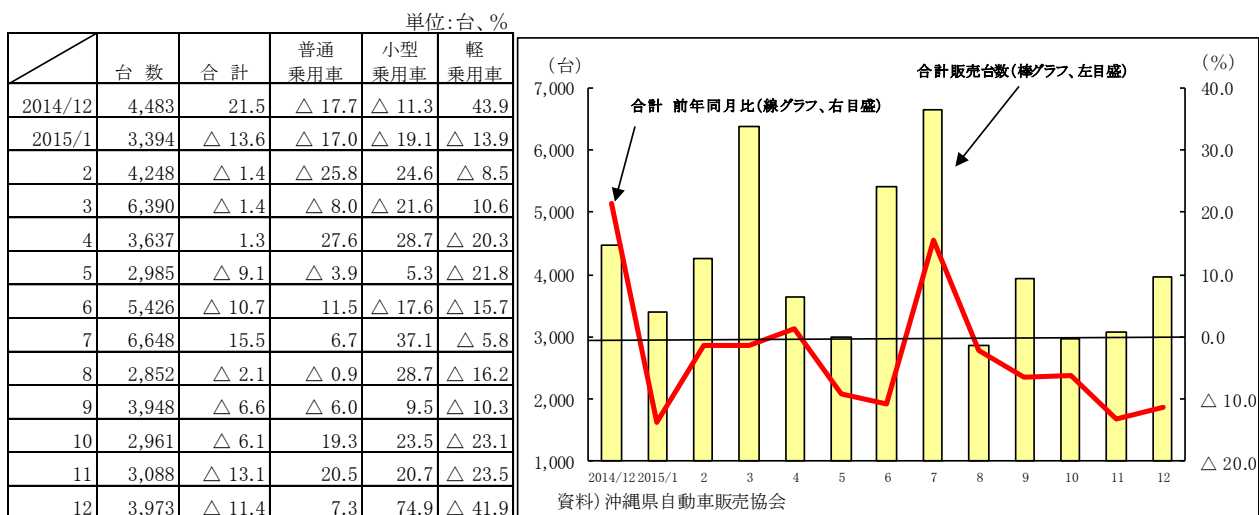
## ②家電卸出荷額…テレビや冷蔵庫の売上増加などにより、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、テレビや冷蔵庫の売上増加などにより、2ヵ月振りに前年同月を上回りました(同7.6%増)。品目別では、「テレビ(同29.1%増)」や「冷蔵庫(同2.6%増)」では、前年落ち込んだ反動や新型商品効果などから売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。一方で、「洗濯機(同1.1%減)」は前年に新型商品効果で伸びた反動から、「エアコン(同24.7%減)」は暖冬の影響などから、それぞれ前年同月を下回りました。

## ③新車販売台数…軽乗用車需要の減少などから、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で3,973台(同11.4%減)となり、軽乗用車需要の減少などから5ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、前年落ち込んだ反動やレンタカー需要の大幅な増加などから、「小型乗用車(同74.9%増)」は6ヵ月連続、「普通乗用車(同7.3%増)」は3ヵ月連続で上回りました。一方で、「軽乗用車(同41.9%減)」は前年伸びた反動や軽自動車税増税の影響などから、9ヵ月連続で下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

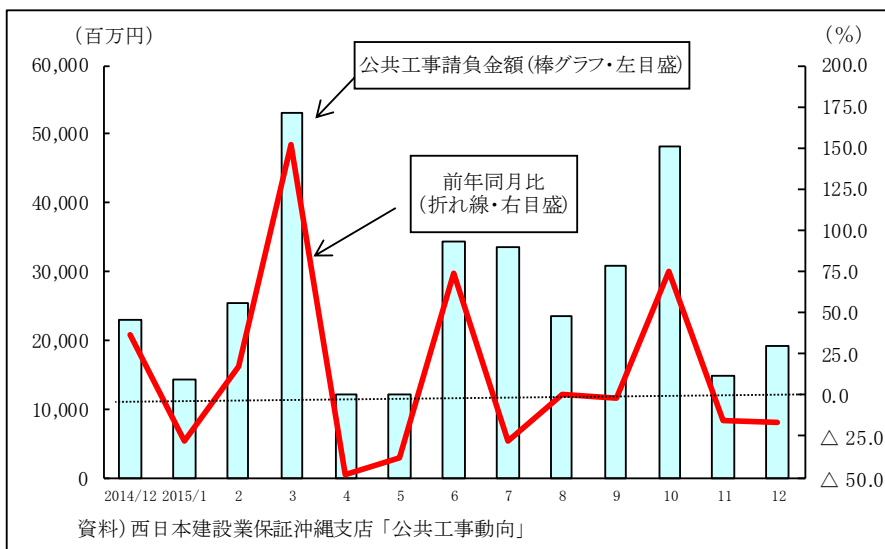


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位:百万円、%

|         | 請負金額   | 前年同月比 |
|---------|--------|-------|
| 2014/12 | 22,968 | 36.8  |
| 2015/1  | 14,359 | △28.4 |
| 2       | 25,384 | 17.1  |
| 3       | 53,096 | 151.7 |
| 4       | 11,991 | △47.8 |
| 5       | 12,215 | △37.9 |
| 6       | 34,358 | 74.0  |
| 7       | 33,472 | △28.3 |
| 8       | 23,352 | 0.8   |
| 9       | 30,835 | △2.1  |
| 10      | 48,301 | 74.7  |
| 11      | 14,816 | △15.4 |
| 12      | 19,114 | △16.8 |

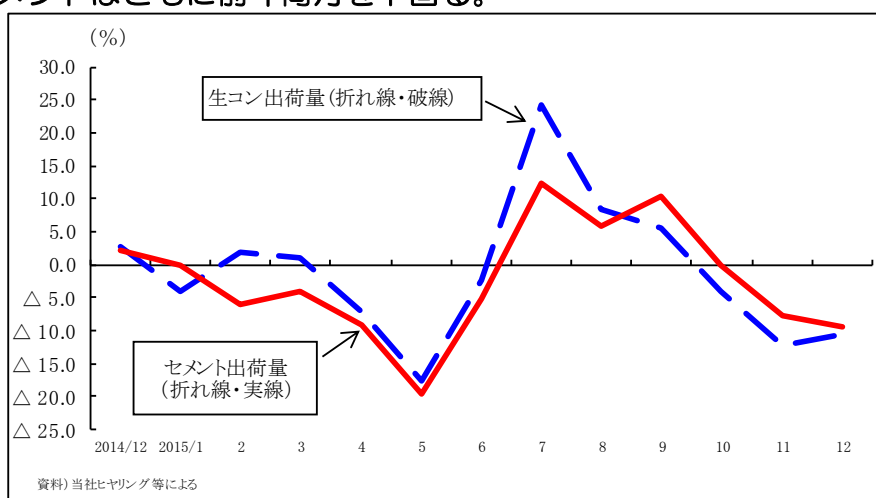


12月の公共工事請負金額は、前年同月比16.8%減の191億1,400万円となりました(2ヵ月連続減)。発注者別でみると、「市町村(同 4.2%増)」は多良間村での製糖施設機械器具設置工事などの大型工事で前年同月を上回りました。一方、「国(同 21.6%減)」は那覇空港滑走路増設関連工事、「独立行政法人等(同 59.5%減)」は沖縄自動車道関連工事、「沖縄県(同 38.0%減)」は沖縄県総合行政情報通信ネットワーク整備工事、「その他の公共的な団体(同 26.2%減)」は畜産振興センター関連工事などの前年の大型工事の反動などで前年同月を下回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

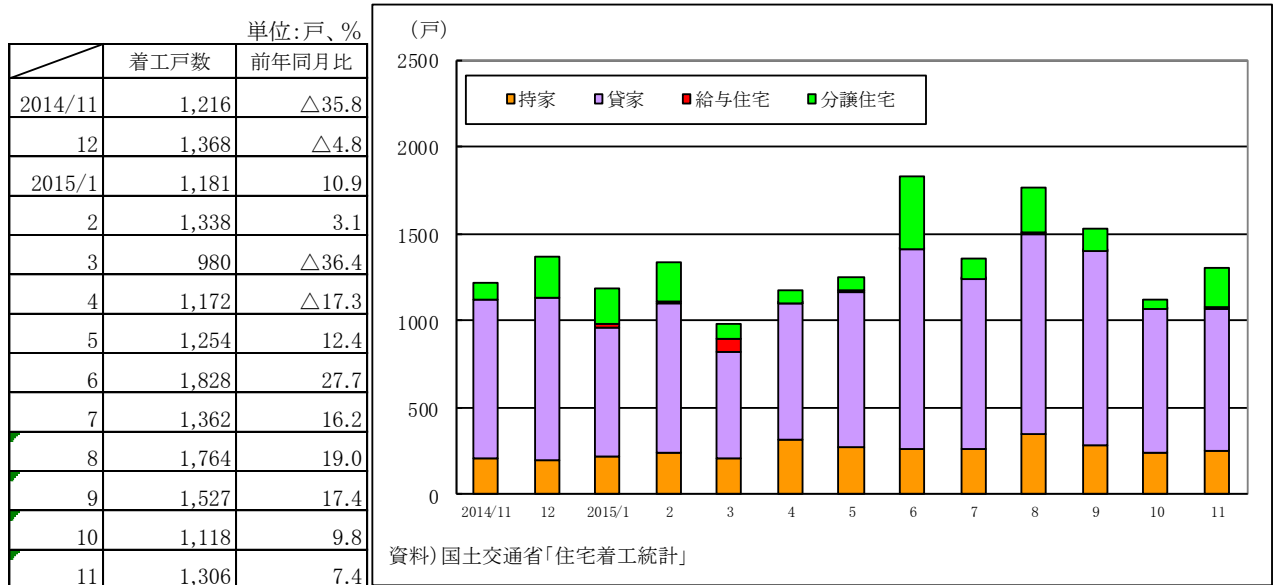
|         | 生コン    | セメント   |
|---------|--------|--------|
| 2014/12 | 2.7    | 2.2    |
| 2015/1  | △ 4.2  | △ 0.04 |
| 2       | 1.7    | △ 6.0  |
| 3       | 0.9    | △ 3.9  |
| 4       | △ 7.2  | △ 9.3  |
| 5       | △ 17.6 | △ 19.6 |
| 6       | △ 2.3  | △ 5.3  |
| 7       | 24.3   | 12.4   |
| 8       | 8.4    | 5.9    |
| 9       | 5.5    | 10.4   |
| 10      | △ 4.2  | △ 0.2  |
| 11      | △ 12.2 | △ 7.7  |
| 12      | △ 10.5 | △ 9.4  |



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は10.5%減少し3ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より1.9%下回り、民間工事向け出荷も15.4%下回りました。**セメント**出荷量も9.4%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(11月)…着工戸数は前年同月を上回る。



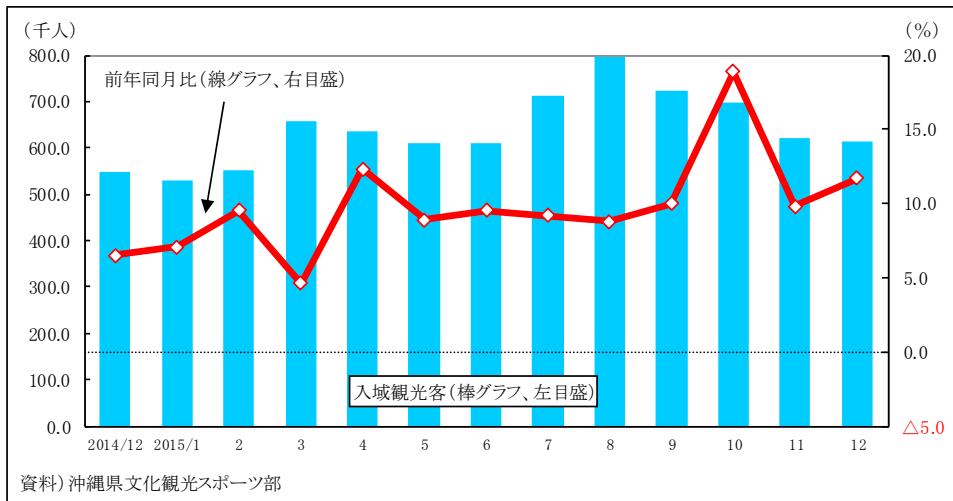
新設住宅着工戸数(11月)は、全体で前年同月比7.4%増の1,306戸と7ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同10.9%減)」が前年同月を下回ったものの、「持家(同22.2%増)」や「分譲住宅(同148.4%増)」などが上回りました。



■観光関連: (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…39ヵ月連続で前年同月を上回る。

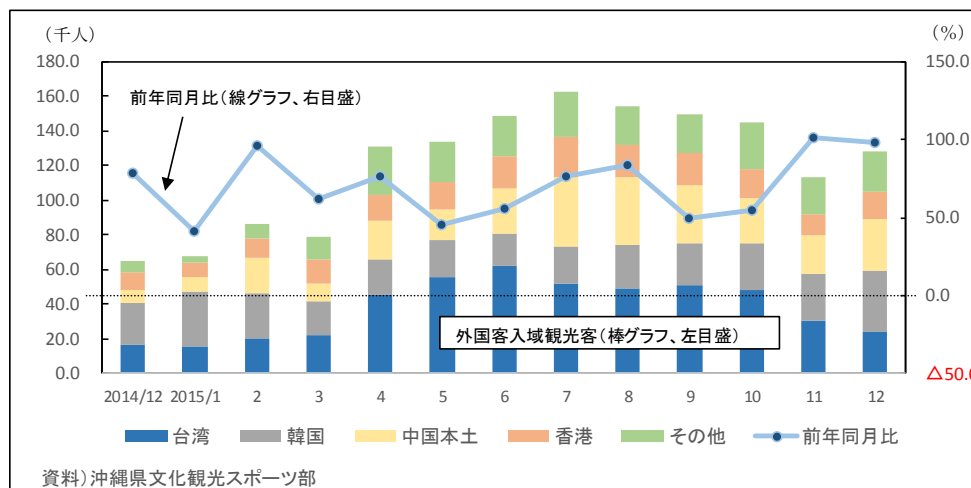
| 単位:千人、% |       |       |
|---------|-------|-------|
|         | 入域観光客 | 前年同月比 |
| 2014/12 | 549.2 | 6.5   |
| 2015/1  | 530.1 | 7.1   |
| 2       | 550.9 | 9.5   |
| 3       | 659.0 | 4.6   |
| 4       | 635.4 | 12.3  |
| 5       | 611.4 | 8.9   |
| 6       | 610.0 | 9.5   |
| 7       | 714.0 | 9.2   |
| 8       | 797.5 | 8.8   |
| 9       | 724.7 | 10.0  |
| 10      | 696.8 | 18.9  |
| 11      | 619.6 | 9.8   |
| 12      | 613.6 | 11.7  |



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…29ヵ月連続で前年同月を上回る。

| 単位:千人、% |       |       |
|---------|-------|-------|
|         | 入域観光客 | 前年同月比 |
| 2014/12 | 64.7  | 78.7  |
| 2015/1  | 67.9  | 41.2  |
| 2       | 86.7  | 95.7  |
| 3       | 79.0  | 62.2  |
| 4       | 130.6 | 76.7  |
| 5       | 133.7 | 45.8  |
| 6       | 149.2 | 56.2  |
| 7       | 163.0 | 76.6  |
| 8       | 154.7 | 83.7  |
| 9       | 149.6 | 49.7  |
| 10      | 145.1 | 54.7  |
| 11      | 113.4 | 101.1 |
| 12      | 128.3 | 98.3  |



※外国客は乗務員等を含む

12月の入域観光客数は、64,400人多い613,600人(前年同月比11.7%増)となり、39ヵ月連続で前年同月を上回りました(12月としては過去最高、2015年の暦年ベースでも776万3,000人となり過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同0.2%増)」は485,300人と、年末年始の日並びの影響により、昨年よりも連休が短い傾向にあったものの、航空路線の拡充(一部LCCの期間増便等)や海路客の増加などにより、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同98.3%増)」は、128,300人と29ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充(中国本土路線の増便、韓国LCC新規就航等)や、クルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移し、前年同月を上回りました。

「台湾(同43.7%増)」「韓国(同46.9%増)」「中国本土(同302.7%増=約4倍)」「香港(同58.4%増)」

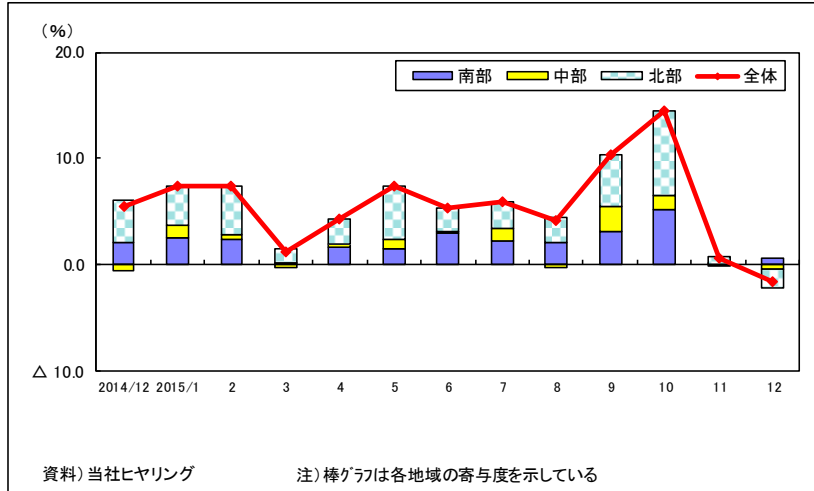
※乗務員等を除く2015年12月実績=全体600,500人(同9.4%増)、外国客115,200人(同79.4%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…22ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

単位: %

|         | 入場者数(前年同月比) |        |       |       |
|---------|-------------|--------|-------|-------|
|         | 全体          | 南部     | 中部    | 北部    |
| 2014/12 | 5.4         | 4.8    | △ 4.0 | 9.0   |
| 2015/1  | 7.3         | 6.5    | 8.7   | 7.6   |
| 2       | 7.4         | 6.2    | 3.1   | 9.5   |
| 3       | 1.1         | 0.2    | △ 2.2 | 2.9   |
| 4       | 4.3         | 4.2    | 2.1   | 5.1   |
| 5       | 7.3         | 3.4    | 7.0   | 10.9  |
| 6       | 5.3         | 7.4    | 1.8   | 4.3   |
| 7       | 6.0         | 6.4    | 10.1  | 4.8   |
| 8       | 4.1         | 6.3    | △ 2.7 | 4.3   |
| 9       | 10.3        | 8.7    | 21.4  | 9.0   |
| 10      | 14.4        | 12.7   | 9.8   | 17.2  |
| 11      | r 0.6       | r △0.4 | 0.3   | r 1.7 |
| 12      | △ 1.7       | 1.3    | △ 3.6 | △ 3.8 |

\* 調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より 1.7%減少(22ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 1.3%増と 26ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同 3.6%減と 4ヵ月ぶり、北部は同 3.8%減と 22ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…ビジネスホテルは前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回る。

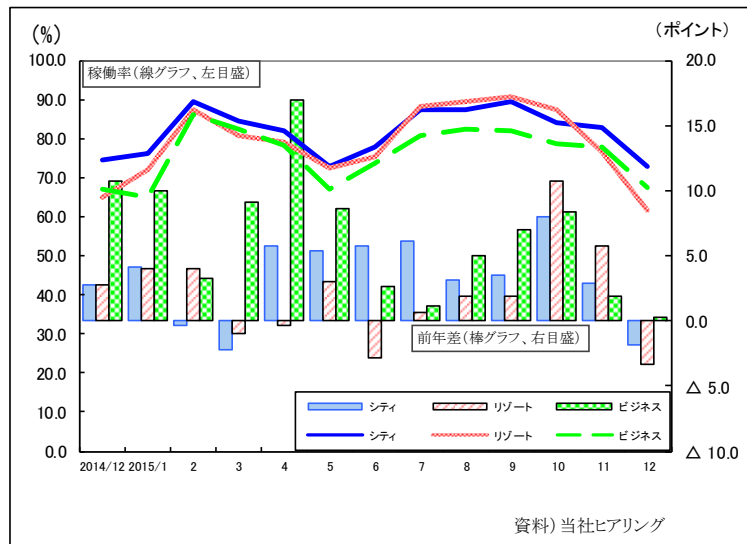
単位: %、ポイント

|         | 稼働率    |      |      | 前年同月差 |       |      |
|---------|--------|------|------|-------|-------|------|
|         | シティ    | リゾート | ビジネス | シティ   | リゾート  | ビジネス |
| 2014/12 | r 74.6 | 64.8 | 67.1 | r 2.7 | 2.8   | 10.7 |
| 2015/1  | 76.3   | 72.0 | 65.1 | 4.1   | 4.0   | 10.0 |
| 2       | 89.5   | 87.4 | 86.1 | △ 0.3 | 4.0   | 3.2  |
| 3       | 84.6   | 80.6 | 82.4 | △ 2.2 | △ 1.0 | 9.1  |
| 4       | 82.1   | 79.1 | 78.1 | 5.8   | △ 0.4 | 16.9 |
| 5       | 72.9   | 72.4 | 67.1 | 5.4   | 3.0   | 8.6  |
| 6       | 78.0   | 75.3 | 73.6 | 5.8   | △ 2.9 | 2.6  |
| 7       | 87.2   | 88.3 | 80.6 | 6.1   | 0.6   | 1.1  |
| 8       | 87.5   | 89.4 | 82.2 | 3.1   | 1.9   | 5.0  |
| 9       | 89.3   | 90.7 | 82.1 | 3.5   | 1.9   | 7.0  |
| 10      | 83.9   | 87.3 | 78.6 | 8.0   | 10.7  | 8.4  |
| 11      | 82.9   | 76.7 | 77.6 | 2.9   | 5.7   | 1.9  |
| 12      | 72.8   | 61.5 | 67.4 | △ 1.8 | △ 3.3 | 0.3  |

注) シティ9ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

注) 2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



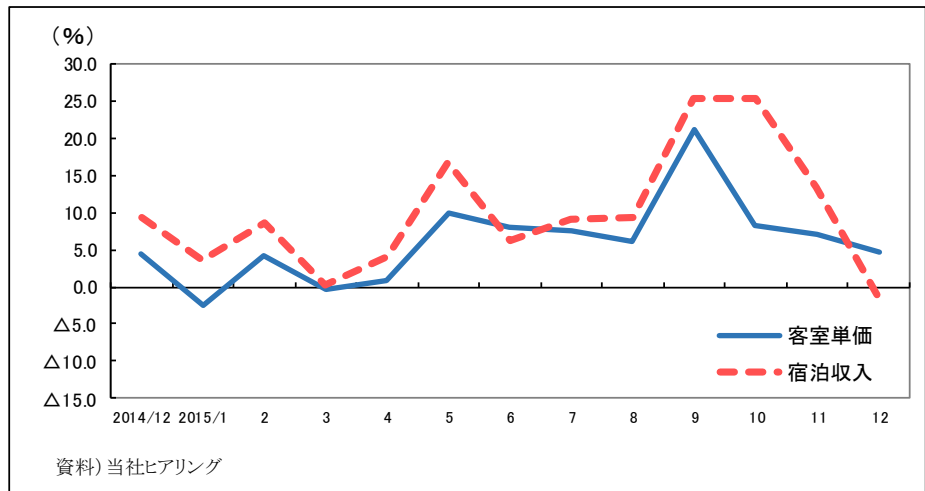
県内ホテル稼働率は、シティホテルが 72.8%と 1.8ポイント減少(9ヵ月ぶり)、リゾートホテルが 61.5%と 3.3ポイント減少(6ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが 67.4%と 0.3ポイント上昇(26ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入は下回る。

単位: %

|         | 客室単価  | 宿泊収入  |
|---------|-------|-------|
| 2014/12 | r 4.4 | r 9.3 |
| 2015/1  | △2.5  | 3.5   |
| 2       | 4.3   | 8.6   |
| 3       | △0.3  | 0.3   |
| 4       | 0.8   | 4.0   |
| 5       | 9.9   | 16.8  |
| 6       | 8.0   | 6.3   |
| 7       | 7.6   | 9.2   |
| 8       | 6.1   | 9.4   |
| 9       | 21.1  | 25.5  |
| 10      | 8.2   | 25.3  |
| 11      | 7.1   | 13.5  |
| 12      | 4.6   | △1.4  |



※対象施設数:28施設(シティ9、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は28施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

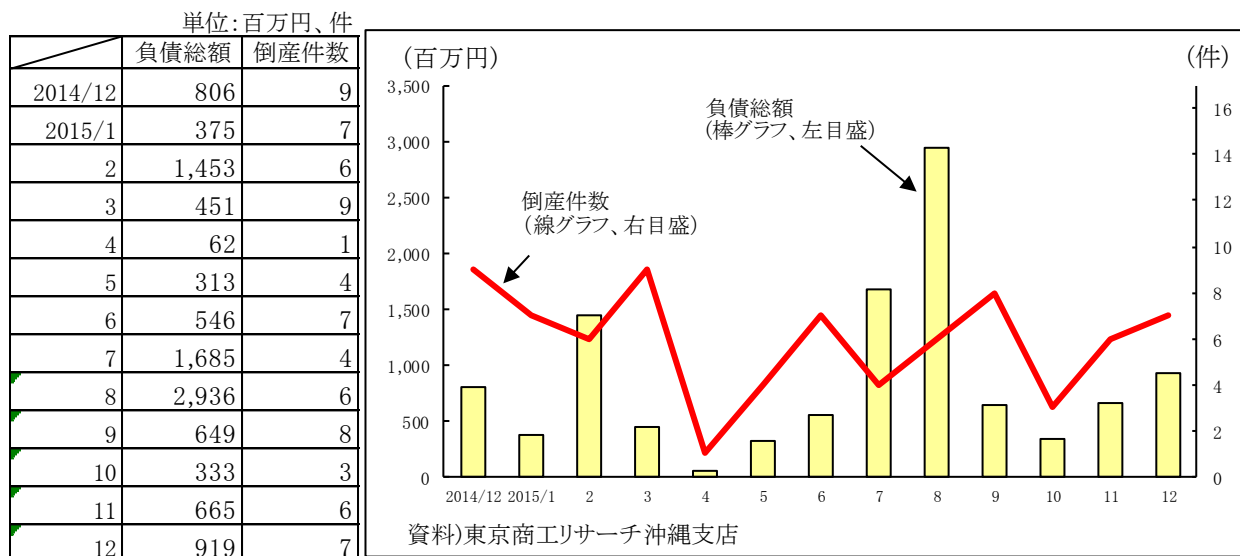
※2014年4月指標より新たに掲載

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 4.6%増と前年同月を上回りました。一方、**宿泊収入**は同 1.4%減と前年同月を下回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

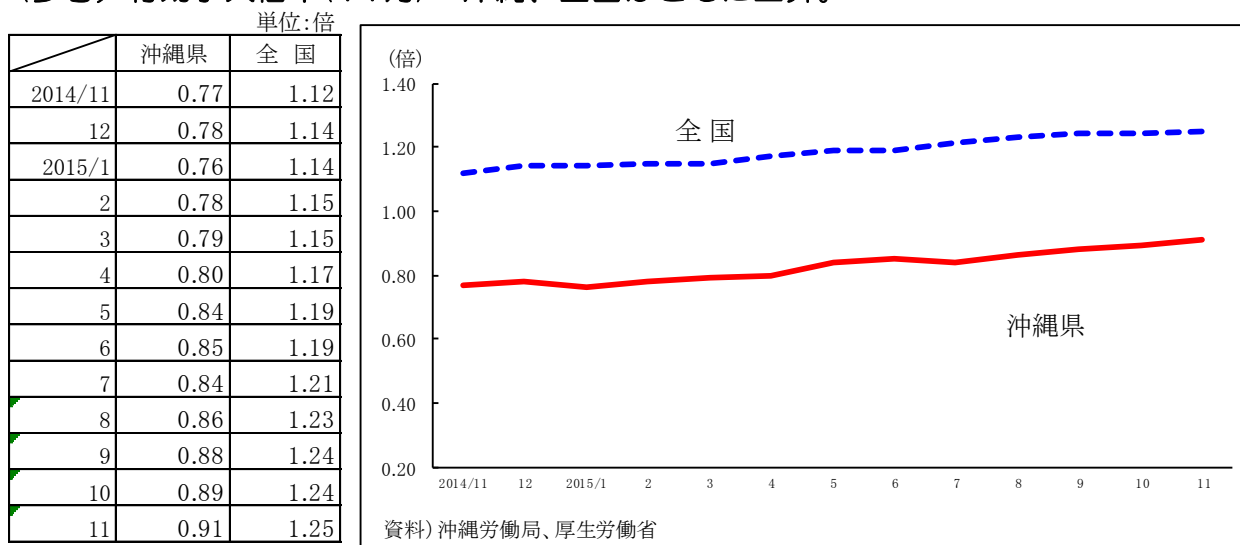


12月の企業倒産件数は、7件(うち、1億円以上の大口倒産は3件)発生し前年同月より2件少なく、負債総額は9億1,900万円と14.0%増加しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考) 有効求人倍率(11月)…沖縄、全国はともに上昇。



注) 季節調整済

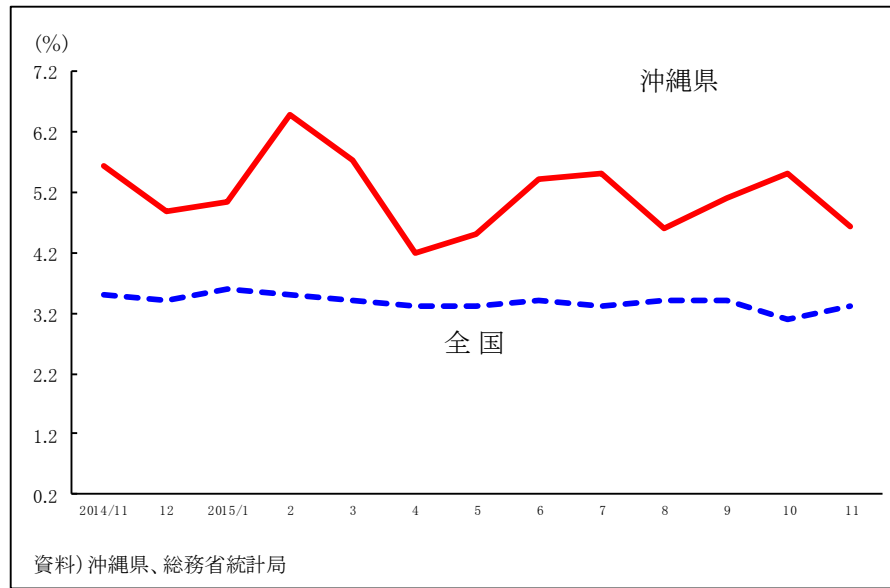
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

11月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比3.8%増の25,423人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.8%増の27,948人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.91倍となり前月より0.02ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(11月)…前月より下落。

|         | 単位:倍 |     |
|---------|------|-----|
|         | 沖縄県  | 全国  |
| 2014/11 | 5.6  | 3.5 |
| 12      | 4.9  | 3.4 |
| 2015/1  | 5.0  | 3.6 |
| 2       | 6.5  | 3.5 |
| 3       | 5.7  | 3.4 |
| 4       | 4.2  | 3.3 |
| 5       | 4.5  | 3.3 |
| 6       | 5.4  | 3.4 |
| 7       | 5.5  | 3.3 |
| 8       | 4.6  | 3.4 |
| 9       | 5.1  | 3.4 |
| 10      | 5.5  | 3.1 |
| 11      | 4.6  | 3.3 |

注) 季節調整済



11月の完全失業率(季節調整値)は、4.6%となり前月より0.9ポイント下落しました。